

テストの使い方

JaSST Tohoku 2014

2014/05/23

kyon_mm

自己紹介

- きょん(@kyon_mm) 26歳 ゆとり世代
- なごや で テストの仕事しています
- Groovy, C#, F#, Scala
- SCMBootCamp, Nagoya.Testing, TDDBootCamp

残念なお知らせ

まさかのネタかぶり

これから話す内容は先ほど関さんが言ってくれたことが結構あります。内容変えても良いかなあって思ったんですが、タイトルを先に決めてLTに登壇させていただいているので、そのままの内容でいきます。

使い方

テストって何するためにしていますか？

検査

- 「何らかの想定と正しいかの比較をする」ためにテストを使います。
- 「定義した要求を満たしているか」「上位の要求を満たしているか」で分けたり。
- 「品質保証のテスト」というように言う人もいますが、品質保証はこれだけじゃないよなー。的な。

定義

- 「ある要求の実現へ着手する前に、その要求を明確にする」ためにテストを使います。
- 「テストファースト」「Wモデル」のように実現していることがあります。
- いわゆるTDDは定義のためのテストの典型です。

探索

- 「どんなソフトウェアであるかを知る」ためにテストを使います。
- 「どんな機能があるのか」「こんな使い方でも大丈夫か」などのような。
- 探索的テスト、仕様がない事を試したり、暗黙的なものを明示的にするとか。

3つの使い方

- 「検査するためのテスト」
- 「定義するためのテスト」
- 「探求するためのテスト」

3つの使い方

SAFeとかのDeanが言っている「Define, Build, QA」のユニットチームに対応しよう。

- 「検査するためのテスト」 <- Build
- 「定義するためのテスト」 <- Define
- 「探求するためのテスト」 <- QA

まとめ

- 「テストします」だと意思疎通がとりにくいことが多かったという自分の反省です。
- 「検査します」「定義します」「探索します」の目的ベースで話した方がやりやすそう。
- テストはいいツールっぽいです。